



アデノウイルスが流行しています

アデノウイルスによる発熱で欠席する園児が増えつつあります。

症状の特徴

- アデノウイルスの症状はあらゆる形で出ますが、
- ◆咽頭炎（のどの腫れ・痛み）
 - ◆結膜炎（目ヤニ・目の充血）
 - ◆高熱（38度～40度近い高熱）
 - ◆まれに下痢や、体に発疹

潜伏期間

一般的に5～7日程度

感染経路

- ◆くしゃみなどの飛沫感染
- ◆便などの糞口感染
- ◆キスなどの接触感染



アデノウイルスは飛沫感染するウイルスであるため、直接触れなくてもウイルスは空気中にも漂っているので容易に感染することになります。大人は、おむつ交換の際に使い捨ての手袋などを使用し、かつマスクを着用することも感染予防の一つの手段になります。

治療期間の目安

治療の基本は、何よりも安静に過ごすことです。

高熱は、比較的長期に継続するケースが多く、4日間～7日間程度に渡り熱が続くケースがあります。

基本的な症状が全て治まるのは1週間程度～長くても2週間程度の治療期間が必要となります。アデノウイルスは症状が治った後も2週間～、時には1ヶ月程度に渡り、ウイルスの排出を続けるため、糞便などからの二次感染は最大の注意が必要です。

※登園は、原則治癒後2日間禁止

※治癒後の登園の際は、医師にご相談ください。